



2021年度

「戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）第2期／自動運転（システムとサービスの拡張）／社会的受容性の醸成に向けた戦略策定と評価に関する調査／総合的な戦略の策定、Web等の情報発信に関する企画及び実施」

成果報告書

2022年3月

株式会社電鉄名鉄コミュニケーションズ
株式会社住商アビーム自動車総合研究所

本報告書は、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)が管理法人を務め、内閣府が実施した「戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)第2期/自動運転(システムとサービスの拡張)」(NEDO管理番号:JPNP18012)の成果をまとめたものです。

1. 研究開発の内容及び成果等

1) 株式会社電通名鉄コミュニケーションズ受託分

(1) 社会的受容性の醸成に関する総合的な戦略を策定

2022年までの長期ビジョンを確認し2021年度の具体的活動案を策定した。

(2) 自動運転に関する情報発信に関する企画及び実施

(2-1) Webサイトの運営

- HP「SIP-Café (<https://sip-cafe.media/>)」の企画・運営を行った。また双方向性の確保を目的としたSNS等を企画・運営した。

(SIP-Café トップページ)



(各月のビュー数)

2021									2022		
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
12,414	10,017	14,707	13,879	12,820	14,137	12,494	10,345	10,726	10,954	8,940	11,177

- SIP-Café (<https://sip-cafe.media/>) : 2021年度に記事166本を掲載 (SIP-Café/SIP-adus インフォと記事ページ)



- Facebook ページ : 「一緒に考えよう、移動の自由のある未来社会@SIP-adus」と連携

(2-2) マスメディア向けの周知活動の企画及び実施

- 2021年10月 臨海部における試乗会について、課題評価委員向け研究拠点視察及び試乗会(課題評価委員・推進委員)・メディア試乗会を開催するために、企画を作成。東京都と調整を行い、普段は一般開放されてい

ない東京国際クルーズターミナル駐車場と、湾岸警察署が使用している駐車場を借りる手配を行った。マスメディアだけではなく、課題評価委員、推進委員が試乗することになり、調整を行った。視野障害の体験テントを作ることになり、体験提供者である井上眼科に調整を頂いた。

(テントでの説明風景)



(2-3) 自動運転に関する問合せ窓口の設置及び運営

- WEB サイトにお問い合わせ窓口を設置。メール問い合わせに対し 3 営業日以内に返信をする体制を運営した。

(3) 危機管理広報設計業務

- 臨海部実証実験において、万が一事故があった際、主催者としてどのように対応すべきか、マニュアルを作成した。①ニュースリリース案（デフォルトの事故対応レベル 2 の修正に加えて、レベル 1 と 3 そして実験外事故の案を追加）②想定 Q 案③メディア対応シートを作成、合わせて納品した。

(成果報告書)

「戦略的イノベーション創造プログラム (SIP) 第 2 期 / 自動運転 (システムとサービスの拡張)

社会的受容性の醸成に向けた戦略策定と評価に関する調査
総合的な戦略の策定、Web 等の情報発信に関する企画及び実施」

第 1 章 「視野障害について考える SIP-adus ウェビナー」報告

I. 企画趣旨

2021 年度は、前年度に実施した視野障害ドライバーに対する高度運転支援システムに関する研究成果も踏まえ、視野障害と運転の問題について啓発するため、全 3 回の「視野障害について考える SIP-adus ウェビナー」(以下「視野障害ウェビナー」)を実施した。

1. 実施目的

視野障害の現状や視野障害が運転に及ぼす影響について市民や関係業界等に正しく伝えること。

2. 各回のテーマ・内容

- 第 1 回「視野障害と自動運転の交叉点」：視野障害とはなにか。病名、症状、治療方法の現状について。
- 第 2 回「運転免許と視野障害 ～有病者の運転と就労を考える」：現在の制度の現状と課題。運転免許、就業、診察に関する問題について。
- 第 3 回「視野障害と運転支援システム ～技術の現在地と未来～」：視野障害を支える自動車技術の研究開発の現状と今後について。

以下では、全 3 回の開催結果を順に報告するとともに、小括として、各回で得られた示唆、参加者の状況および今後の社会的受容性の醸成に向けた課題について述べる。

II. 第 1 回ウェビナー報告

1. 開催概要

第 1 回について、以下の概要の通り実施した。

- 日時 2021 年 7 月 8 日 (木) 午後 1 時 00 分～2 時 30 分
 - 開催方法 オンライン開催 (参加無料)
 - テーマ 「視野障害と自動運転の交叉点」
 - 登壇者等
-

-
-
- ◇ 神戸アイセンター病院 研究センター長 高橋政代氏（基調講演・パネルディスカッション登壇）
 - ◇ 西葛西・井上眼科病院 副院長 國松志保氏（基調講演・パネルディスカッション登壇）
 - ◇ 筑波大学 教授 伊藤誠氏（パネルディスカッション登壇）
 - ◇ SIP 自動運転 サービス実装推進 WG 構成員 国際モータージャーナリスト 清水和夫氏（総括担当）
 - ◇ SIP 自動運転 推進委員会構成員 モータージャーナリスト 岩貞るみこ氏（司会・モデレーター）
 - プログラム
 - ◇ 冒頭挨拶： 清水和夫氏
 - ◇ 基調講演 「技術を育てる - iPS 細胞と自動運転の共通点」： 高橋政代氏
 - ◇ 啓発動画 「[緑内障運転絵巻](https://www.youtube.com/watch?v=raDEAjxOxxI)」（国際交通安全学会制作）
（<https://www.youtube.com/watch?v=raDEAjxOxxI>）
 - ◇ 基調講演 「症例紹介『運転外来の現場より』」： 國松志保氏
 - ◇ パネルディスカッション（代表質問および視聴者 Q&A）
： 高橋政代氏、國松志保氏、伊藤誠氏、岩貞るみこ氏

2. 取材・報道

以下の 4 社から取材希望があり、うち①は開催前に告知記事を掲載。

- ①自動車専門ウェブメディア「GENROQ Web」、②交通毎日新聞、③読売新聞、④NEXT MOBILITY

また、事後の報道としては以下のものがあつた。

- ① 2021 年 7 月 15 日付 交通毎日新聞「内閣府 SIP 自動運転関連行事 「視野障害」でセミナー」

（別紙 3）

- ② 2021 年 7 月 14 日付 Merkmal「[信号見落としの原因は注意力でなく「目」？ 自覚しにくい視野障害 40 歳以上は 5%が緑内障](https://merkmal-biz.jp/post/3319)」（<https://merkmal-biz.jp/post/3319>）

※Merkmal の「週間注目記事ランキング」で一時、第 1 位となつた。

3. 討議の様子



4. 概括

- 講演およびパネルディスカッションでは、まずは視野障害の存在を知り、自分が視野障害である可能性を疑って早期に受診・発見することの重要性、治療を継続することの重要性が、各登壇者から述べられた。また、臨床経験から、家族や企業の安全担当者など周囲の人が運転時の異変に気付いて受診を促すことも、重要な発見機会となっていることが分かった。
- 視野障害の患者・予備軍の人の中には、「眼科に行くと運転免許を取り上げられる」と思って受診をためらう人がおり、この誤解を解くことが重要であるとの意見も一致して見られた。視野障害の程度はグラデーション様にさまざまであり、正常視野の人とほとんど同じく運転に支障のない場合もある。正しく治療を継続することで視野障害があっても運転を続けることができるということも、広く啓発されるべきといえる。
- 運転支援機能の一部はすでに一定程度の技術的レベルにあり、視野障害者の運転支援として有望である。代表的と考えられる音声支援機能においては、どの障害物や事象をリスクと捉え、如何に取舍選択して運転手に伝えるかという点に課題がある。また、自動ブレーキ等の運転支援機能は既に実用化されているものもあるが、運転手のもつ症状に対してどの運転支援機能が適しているか等については十分な説明がなされていないとの指摘もあった。
- 視野障害に関する啓発・周知に関して、既に行われている啓発動画等の取り組みはもちろんあるが、同時に、一般の方ひとりひとりが視野障害の存在を頭に置き、自分や家族、仕事上関わる人達に対して、疑問に思うことがあれば視野障害の可能性を疑ったり、周囲との会話を通じて認識を広げたりすることが有用だと考えられる。

-
-
- アンケートの自由記述から、多様な属性の方にご参加頂き、視野障害と運転の問題について認知頂いたことが読み取れた。医療関係では、眼科医の方から「（これまでとは）違った視点で視覚障害というものを認識でき（た）」、視野障害を有する方から「自分の現状の問題にあてはめて身につまされた」とのコメントがあった。また、自動車の開発に携わる方から、「今後の開発に活かしたい」旨のコメントや、保険業界の方から「今まで当事者も考えもしなかった自動車事故原因」があったのではないかと、「保険でそれを何とかできないのか」と、今後に向けた示唆を含むコメントがあった。視野障害と運転の問題について市民や関係業界等に正しく伝え、認知してもらうという企画目的にも適う反響が得られたと考えている。
 - 今回のディスカッションにおいては、視野障害疑いのあるドライバーが運転を継続できなくなることを恐れて眼科受診をためらう問題が指摘された。第2回では運転免許や就業の問題をテーマとして取り上げることから、この問題についてもより深い議論を行うことができるよう配慮したい。
 - 運営面の課題として、視聴者の裾野を広げることを目指したい。本ウェビナーは、一般市民よりは各業界関係者を主な視聴者として想定しているが、より幅広い業界関係者に視聴いただくため、従来アクセスが確立できていない医療業界への告知活動を行うとともに、各種メディアを通じた広報活動を行いたい。

Ⅲ. 第2回ウェビナー報告

1. 開催概要

第2回について、以下の概要の通り実施した。

- 日時 2021年9月2日（木）13:00-14:30
 - 開催方法 オンライン開催（参加無料）
 - テーマ 「運転免許と視野障害～有病者の運転と就労を考える」
 - 登壇者等
 - ◇ たじみ岩瀬眼科 院長 岩瀬愛子氏（基調講演・パネルディスカッション登壇）
 - ◇ 神戸アイセンター病院 研究センター長 高橋政代氏（パネルディスカッション登壇）
 - ◇ 西葛西・井上眼科病院 副院長 國松志保氏（パネルディスカッション登壇）
 - ◇ SIP 自動運転 サービス実装推進 WG 構成員 国際モータージャーナリスト 清水和夫氏（総括担当）
 - ◇ SIP 自動運転 推進委員会構成員 モータージャーナリスト 岩貞るみこ氏（司会・モデレーター）
 - ◇ 林愛子氏（Q&A 紹介）
 - プログラム
 - ◇ 冒頭挨拶 「SIP 自動運転の取り組みと視野障害の関係」： 清水和夫氏
-
-

-
- ◇ 基調講演 「運転と視野 -現状と課題-」： 岩瀬愛子氏
 - ◇ 事例紹介 「視野障害ドライバーに対する企業の対応例」： 岩貞るみこ氏
 - ◇ パネルディスカッション（代表質問および視聴者 Q&A）
： 高橋政代氏、國松志保氏、伊藤誠氏、岩貞るみこ氏

2. 取材・報道

NEXT MOBILITY から取材希望があった。また、米国の技術リサーチ会社 VSI-Labs よりコンタクトがあり、第 3 回のテーマに関心があり取材を検討したい旨の言及があった。

ウェビナー実施後に確認したところ、複数媒体（Response.、グーネットマガジン、carview! 等）に岩貞るみこ氏執筆の記事が掲載されたほか（①）、本ウェビナーに言及した石井昌道氏の記事がグーネットマガジンに掲載された（②）。

① 2021 年 9 月 9 日「40 代の 20 人に 1 人が緑内障、「視覚障害」を早期発見するには【岩貞るみこの人道車医】」

（<https://response.jp/article/2021/09/09/349321.html>）

② 2021 年 9 月 3 日「自動運転技術は視覚障害を救うか【石井昌道の自動車テクノロジー最前線 第 21 回】」（<https://www.goo-net.com/magazine/newmodel/car-technology/51455/>）

3. 討議の様子（当日のウェビナー画面）



上段左から、岩貞るみこ氏、岩瀬愛子氏。下段左から、國松志保氏、清水和夫氏、高

橋政代氏。

4. 概括

- 視野障害において早期発見が重要であることは第 1 回開催でも指摘されたとおりだが、定期健康診断の検査項目に視野検査が含まれない等、行政・企業において視野障害を発見するための仕組みが十分とは言えない。運転免許更新にあたって簡易視野検査器を用いた視野検査を取り入れる等の動きが始まっているが、自主的に視野検査を受けることを含め、気づきの機会を設けることが重要。
- 視野障害は、治療により進行を遅らせることで運転を継続することも可能であり、視野の欠点を補う「補償行動」等によって、実際に視野障害ドライバーの事故率は正常視野ドライバーと変わらないというデータもある。視野欠損の部位も、補償行動の程度も個人によって多様であり、一人一人に合った対策が必要。
- 一方で、企業によっては、十分な個別検証なく視野障害ドライバーを解雇してしまう事例がある。企業側の理解を促進するとともに、眼科専門医のアドバイスを踏まえて産業医や会社が慎重かつ適切に判断できる環境整備が必要。配置換えなど雇用を継続するための工夫や意識の向上も望まれる。
- 高度運転支援の機能は視野障害ドライバーの運転に役立つことが期待される。例えば、衝突被害軽減ブレーキの義務化は前進と捉えられる。信号に気を取られすぎる視野障害ドライバーのためには、信号放置システム等も有用と考えられる。
- 運転支援機能の開発にあたって、視覚障害・視野障害の人に焦点を当てて開発すれば、視覚障害・視野障害の人にとっても役に立つものになるとの意見があった。眼科医の立場からは、いわば処方箋のように、症状のパターンに応じて適切な運転支援機能を選択するようなアプローチが期待される。一方で、視野障害の症状や状況は人それぞれであるため、技術の適用も一概には行かないと考えられる。第 3 回開催においては自動車技術について取り上げる予定であることから、この点の議論を深めていきたい。

IV. 第 3 回ウェビナー報告

1. 開催概要

第 3 回ウェビナーを以下の概要の通り実施した。

- 日時 2022 年 1 月 11 日（火）15:00-16:30
- 開催方法 オンライン開催（参加無料）
- テーマ 「視野障害と運転支援システム ～技術の現在地と未来～」
- 登壇者等
- ◇ 名古屋大学未来社会創造機構 特任教授 青木宏文氏（基調講演・パネルディスカッション）

ション)

- ◇ 株式会社本田技術研究所 先進技術研究所 エグゼクティブチーフエンジニア 杉本洋一氏
(基調講演・パネルディスカッション)
- ◇ 大阪大学社会ソリューションイニシアティブ 特任准教授 小出直史氏 (パネルディスカッション)
- ◇
- ◇ SIP 自動運転 サービス実装推進 WG 構成員 国際モータージャーナリスト 清水和夫氏
(総括担当兼モデレーター)
- ◇ SIP 自動運転 推進委員会構成員 モータージャーナリスト 岩貞るみこ氏 (司会)
- プログラム
- ◇ 冒頭挨拶：清水和夫氏
- ◇ 基調講演「高精度大型 DS (ドライビング・シミュレータ) を用いた視野障害を有するドライバーの視認行動のモデル化と運転支援システムによる事故低減効果シミュレーション」：青木宏文氏
- ◇ 基調講演「先進運転支援システムの最新開発状況と今後の展開」：杉本洋一氏
- ◇ パネルディスカッション・視聴者 Q&A：青木宏文氏、杉本洋一氏、小出直史氏、清水和夫氏

2. 参加登録者数およびアンケート

- 参加登録者数は過去最高の 472 名。アンケート回答者 82 名のうち、関心のあるテーマとして「高度運転支援の技術的課題」と「ドライバーと高度運転支援システムの協調」との回答がともに 57 件で最多となった。一方で、自由記述コメントにおいては、社会の現状と運転支援・視野障害との関係、免許を含む制度面との整合、事故の責任問題を含む社会・倫理的課題に対する関心も示され、技術を取り巻く社会・制度面への関心の広がりもうかがわれた。

3. 取材・報道

- (株)自動車新聞社のモビリティサービス専門 Web メディア「LIGARE (リガーレ)」より取材希望があり、有料記事としてレポートが掲載された (<https://ligare.news/story/sip-adus/>)。内容は別紙 3 の通り。

4. 討議の様子 (当日のウェビナー画面)

「視野障害と運転支援システム
～技術の現在地と未来～」

パネルディスカッション



5. 概括

- 中程度以上の視野障害と交通事故には相関が認められる一方、視野障害を自覚して通常以上に注意深く運転する「補償行動」によって、事故の発生確率は低減できる。同時に、先進運転支援システムによって事故の発生を抑えられることも、シミュレーション分析から分かっている。
- すべての交通参加者が安全に過ごすために、自動運転技術および運転支援技術が果たす役割は重要。現在開発されている技術は、交通死亡事故類型の半数弱をカバーしているが、残りの類型をもカバーすべく、技術開発が進められている。そこでは、機械と人が互いに状況を理解し合い、周囲の環境と協調していく「協調人工知能」の考え方が取り入れられている。
- ユーザーにとっての関心事は、製品技術の知識ではなく、結果として安全に過ごせる状態や社会。一方で、ユーザーが製品を理解したほうが機能を使いこなせる場合もある。ユーザーに理解してもらうための仕組み、トレーニング、ソフト等がセットで提供される必要がある。技術に対して知識や関心のあるユーザーだけが安全を享受し、そうでない人が置いて行かれる構造とならないよう、ユーザーが理解しやすい考え方や仕組みにどう落とし込んでいくかが重要。

V. 視野障害ウェビナー小括

1. 各回で得られた示唆

- 第1回では、まずは視野障害の存在を知り、自分が視野障害である可能性を疑って早期に受診・発見することの重要性、治療を継続することの重要性が確認された。また、家族や

企業の安全担当者など周囲の人が運転時の異変に気付いて受診を促すことも、重要な発見機会となっていることが分かった。さらに、医療関係者から、運転支援機能の一部はすでに一定程度の技術的レベルにあり、視野障害者の運転支援として有望であるとの意見が示された。一方で、視野障害疑いのあるドライバーが運転を継続できなくなることを恐れて眼科受診をためらう問題が指摘され、この点について第2回ウェビナーにおける深掘り議論が期待された。

- 第2回では、治療により視野障害の進行を遅らせることで運転可能な視野を維持すること、視野の欠点を補う「補償行動」によるリカバリーが可能であることなど、視野障害を有しながらも運転を継続することの可能性や方策についての指摘が多くなされた。一方で、企業によっては十分な個別検証なく視野障害ドライバーを解雇する等の事例もみられ、企業側の理解を促進するとともに、眼科専門医のアドバイスを踏まえて産業医や会社が慎重かつ適切に判断できる環境整備が必要との認識が共有された。また、運転支援機能の開発にあたり、視覚障害の人に焦点を当てて開発することで、視野障害ドライバーにとってより役に立つ技術になるだろうとの意見も示された。
- 第3回では前述の通り、先進運転支援システムによる事故抑制効果がシミュレーション分析を通じて検証されつつあることが紹介された。一方で、交通死亡事故タイプのうち半分強は未だ現在の運転支援技術でカバーされていないことから、残る類型への対応に向けて技術開発が進められていることが紹介された。また、ユーザーにとって必要なことは製品知識よりも「結果として安全に過ごせる社会」であり、それを実現するための手段として、分かりやすい形でユーザーに運転支援技術を理解してもらうための仕組みが提供されるべきとの指摘がなされ、登壇者の賛同を得た。

2. 参加者の状況および今後の社会的受容性の醸成に向けた課題

- 第1回から第3回にかけて、各回のリピート参加および広報活動の拡充により、参加登録者数は一貫して増加した（335名→391名→472名）。一方で、参加者の属性は一貫して「40-60代」「男性」が80%前後を占めており、より幅広い層へのアプローチが今後に向けての課題と考える。また、視聴者層の重なりが大きかったと考えられる第1回と第2回の間で認知度（「視野障害と運転の問題を知っていた」とする回答の割合）が上昇していることや、自由記述コメントの内容の変遷から、回を追うごとに本ウェビナーの主題に対する認知度が向上していったことがうかがえた。
- 上記の通り、より幅広い属性の人に認知・受容を広げることを目指すため、2022年度に企画する「自動運転 Live ウェビナー」（仮称）において、若年層へのアプローチに重点を置くこととしたい。視野障害と運転の問題については、同企画のテーマの一部として取り上げることが計画している。

第 2 章 「SIP 自動運転の取組等、関連最新動向を解説、PR する動画やウェビナーの企画・運営」報告

I. 企画趣旨

SIP 自動運転の各種取組（仮想空間でのシミュレーション、交通環境情報の活用促進等）やその他の最新動向について、業界関係者や一般市民の理解を促進することを目的として、各種動画の制作・発信を行った。

なお、解説動画の作成にあたっては、自動運転を取り巻く法制度整備や技術開発、実証実験、実用化、将来像の進捗や中身について、過信・不信・誤認等を抱かせないように留意しつつ、SIP 自動運転の各種取組の目的・成果等を分かりやすく解説・PR するよう留意した。

II. 各動画のテーマ及び成果物

SIP 自動運転の Web サイト（SIP-café）において、下表の動画を掲載・発信した（計 72 本）。

公開日	映像タイトル	映像アドレス
2021/4/9	地域自動運転サミット～産学官オールジャパンでの取り組み～	https://youtu.be/T6FbZKts4oU
2021/4/9	社会受容性シンポジウム～産学官オールジャパンでの取り組み～	https://youtu.be/UvNeVtBFZ64
2021/4/12	自動運転の未来を拓くセンサシミュレーション【DIVP = Driving Intelligence Validation Platform】	https://youtu.be/8tyZEg3ZFGQ
2021/4/12	地域自動運転サミット パネルディスカッション第 1 部	https://youtu.be/UV36TekMkr4
2021/4/12	永平寺町自動運転出発式	https://youtu.be/ccOdJ0ArVHg
2021/4/14	ポッシュ【東京臨海部実証実験】	https://youtu.be/ZXkKYRgIEE
2021/4/14	地域自動運転サミット パネルディスカッション第 2 部	https://youtu.be/CW143TcNrPY
2021/4/14	SUBARU【東京臨海部実証実験】	https://youtu.be/xO0dl0az72o
2021/4.20	日産自動車【東京臨海部実証実験】	https://youtu.be/HkQ59PX0FUc
2021/4/21	コンチネンタル・オートモーティブ【東京臨海部実証実験】	https://youtu.be/MiXjuvmdxIE
2021/4/23	本田技術研究所【東京臨海部実証実験】	https://youtu.be/yz06pvWhfj8
2021/4/29	三菱自動車工業【東京臨海部実証実験】	https://youtu.be/wONuf9AyFHQ

2021/4/30	ティアフォー／損害保険ジャパン／アイサンテクノロジー／フィールドオート【東京臨海部実証実験】	https://youtu.be/TCqwmdR2Pkc
2021/4/30	スズキ【東京臨海部実証実験】	https://youtu.be/yn2DT4Qxp4s
2021/4/30	三菱電機【東京臨海部実証実験】	https://youtu.be/yp8ALrIhEwU
2021/5/5	世界初!! 自動運転レベル3車両、ホンダレジェンドを市販化【試乗レポート】	https://youtu.be/wiQFuekJmI
2021/5/8	道の駅『奥永源寺溪流の里』自動運転サービス出発式	https://youtu.be/Mmds2s3SoEY
2021/5/21	ダイハツ【東京臨海部実証実験】	https://youtu.be/JWCN7rUH-po
2021/6/2	SIP-adus 合同試乗会【イベントレポート】	https://youtu.be/dqedA7zJqms
2021/6/9	「都市郊外でのこれからの移動支援に向けて」東京大学 中村文彦氏【インタビュー】	https://youtu.be/B3P-jZKqKTI
2021/6/26	SIP 自動運転・市民ダイアログ 横浜での取組から考える都市郊外の移動～自動運転の社会実装に向けて Part1	https://youtu.be/Kvv8eChF460
2021/6/26	SIP 自動運転・市民ダイアログ 横浜での取組から考える都市郊外の移動～自動運転の社会実装に向けて Part2	https://youtu.be/BXTwOWwBjxI
2021/6/26	SIP 自動運転・市民ダイアログ横浜での取組から考える都市郊外の移動～自動運転の社会実装に向けて Part3	https://youtu.be/nbyUPnSkm_c
2021/6/26	SIP 自動運転・市民ダイアログ横浜での取組から考える都市郊外の移動～自動運転の社会実装に向けて Part4	https://youtu.be/Wf8-P00ZyhQ
2021/6/26	SIP 自動運転・市民ダイアログ 横浜での取組から考える都市郊外の移動～自動運転の社会実装に向けて Part5	https://youtu.be/SRbZyjuvW8U
2021/7/12	【令和の緊急提言】八街市児童5人死傷事故から考える『生活道路の安全対策』	https://youtu.be/LgIVhfv74bY
2021/7/16	『視野障害と運転』#運転外来 西葛西・井上眼科病院でドライビングシミュレータ体験	https://youtu.be/qomp0vIW0_U
2021/8/7	自動運転法整備セミナー	https://youtu.be/Z7Y1wLVoUCI
2021/8/13	視野障害について考えるSIP-adus ウィブナー『視野障害と自動運転の交叉点①』	https://youtu.be/H4InU2vV_WE

2021/8/13	視野障害について考える SIP-adus ウィビナー『視野障害と自動運転の交叉点②』	https://youtu.be/4nUDtxdBjs4
2021/8/13	視野障害について考える SIP-adus ウィビナー『視野障害と自動運転の交叉点③』	https://youtu.be/JgLD2CH63XA
2021/8/13	視野障害について考える SIP-adus ウィビナー『視野障害と自動運転の交叉点④』	https://youtu.be/x4clHZZ68eI
2021/9/21	【令和の緊急提言】e-Paletteと歩行者の接触	https://youtu.be/Wb90Usp8wQs
2021/9/28	運転免許と視野障害～有病者の運転と就労を考える 企業の対応例 質疑応答	https://youtu.be/B9SkENdJVrg
2021/9/28	運転免許と視野障害～有病者の運転と就労を考える	https://youtu.be/ZLs0o-LpKD4
2021/9/28	運転免許と視野障害～有病者の運転と就労を考える 全編	https://youtu.be/vhzfKUowvmE
2021/9/28	運転免許と視野障害～有病者の運転と就労を考える たじみ岩瀬眼科 院長 岩瀬愛子氏による基調講演	https://youtu.be/skhS70kYTcw
2021/10/4	自動運転 見聞録『奥永源寺溪流の里』	https://youtu.be/oJIAODgSKSc
2021/12/1	SIP-adus 第2回試乗会レポート	https://youtu.be/niLVN2QgRSA
2021/12/1	SIP-adus 第2回試乗会プレスブリーフィング	https://youtu.be/u6jgW8tQiPM
2021/12/9	東京臨海部実証実験 マツダ コパイロットコンセプト	https://youtu.be/HyCdcJENeI
2021/12/20	自動運転見聞録「福岡県 みやま市」	https://youtu.be/hwsMQWqEINE
2021/12/22	自動運転見聞録「赤来高原」	https://youtu.be/NnpICB3Mc_0
2021/12/23	メルセデス・ベンツ S,クラス【先進安全運転技術・試乗レポート】	https://youtu.be/hjdXi5NzkdA
2021/12/25	VW ゴルフ 8【先進安全運転技術・試乗レポート】	https://youtu.be/N9zpqI09KhU
2021/12/29	メルセデス・ベンツ A250 e【先進安全運転技術・試乗レポート】	https://youtu.be/yit43ev_Xbg
2022/1/19	ホンダレジェンド【先進安全運転技術・試乗レポート】	https://youtu.be/LVGpgsBnvK8
2022/1/21	「HMI とドライバーの過信」を考える 栃岡孝宏氏 基調講演	https://youtu.be/RceDfzQWOCE
2022/1/21	「HMI とドライバーの過信」を考える 平岡敏洋氏 基調講演	https://youtu.be/hhyVnd8RM-E

2022/1/21	「HMIとドライバーの過信」を考える 全編	https://youtu.be/SUqLFIsZkdY
2022/2/4	「ソフトウェアアップデートとサイバーセキュリティ」～新たな基準制度への対応～ 新国哲也 氏 基調講演	https://youtu.be/52IGsm-ZQQU
2022/2/4	「ソフトウェアアップデートとサイバーセキュリティ」～新たな基準制度への対応～ 旭利夫氏 基調講演	https://youtu.be/bZM0xzx4so
2022/2/4	「ソフトウェアアップデートとサイバーセキュリティ」～新たな基準制度への対応～ 全編	https://youtu.be/S8RPCVdzYwM
2022/2/7	自動運転見聞録 道の駅「かみこあに」	https://youtu.be/gyqvqi0bAAM
2022/2/17	自動運転見聞録「山形県 高島町」	https://youtu.be/0Ibk4MS6tvI
2022/2/26	自動運転見聞録 「沖縄県 北谷町」美浜シャトルカート	https://youtu.be/5G7WWQYyy8M
2022/3/1	視野障害と運転支援システム～技術の現在地と未来～ 全編	https://youtu.be/4bFycXm3eGE
2022/3/1	視野障害と運転支援システム～技術の現在地と未来～ 名古屋大学未来社会創造機構 特任教授 青木宏文（あおきひろふみ）氏 基調講演	https://youtu.be/Itm4d1Sd3Zo
2022/3/1	視野障害と運転支援システム～技術の現在地と未来～ 本田技術研究所 先進技術研究所 エグゼクティブチーフエンジニア 杉本洋一（すぎもと よういち）氏 基調講演	https://youtu.be/DH084TVMiXU
2022/3/1	視野障害と運転支援システム～技術の現在地と未来～ パネルディスカッション&質疑応答	https://youtu.be/ysmMe9FQuTA
2022/3/8	自動運転見聞録「東京都 西新宿エリア」都心部特有の自動走行困難な営業ルートでの自動運転バス運行実証	https://youtu.be/K5Auo161JZE
2022/3/11	自動運転見聞録「東京都 西新宿エリア」まちのインフラと協調した自動運転サービスの運行実証	https://youtu.be/nHh1p_hWWCg
2022/3/14	ダイハツ タフト スマートアシスト【先進安全運転技術・試乗レポート】	https://youtu.be/KDWtzGGWaAI
2022/3/28	自動運転見聞録「C+ pod ヨコハマ」	https://youtu.be/RwzHNPmP9Fc
2022/3/28	「モビリティデータの利活用とデータ提供の協調領域」全編	https://youtu.be/2KAb_3zoR4Y

2022/3/28	「モビリティデータの利活用とデータ提供の協調領域」パネルディスカッション/Q&A	https://youtu.be/GT3I9KwmeNk
2022/3/28	「モビリティデータの利活用とデータ提供の協調領域」松井博司氏 基調講演	https://youtu.be/eva8qtqGXW8
2022/3/28	「モビリティデータの利活用とデータ提供の協調領域」市川博一氏 基調講演	https://youtu.be/oPoJ7A1OoVM
2022/3/28	ニッサン ノート プロパイロット（ナビリンク機能付） 【先進安全運転技術・試乗レポート】※再アップ	https://youtu.be/2ZMbwpHyKjE
2022/3/30	what3words 3ワードを入力するだけでピンポイントで目的地に辿り着ける!! メルセデス・ベンツ C220d 4 マチック	https://youtu.be/1F8Y5TF7-hY
2022/3/31	自動運転見聞録「愛知県 春日井市」石尾台	https://youtu.be/QGoJ2rAhwwM
2022/3/31	自動運転見聞録「福井県 永平寺町」ZEN drive	https://youtu.be/ILTDCWz8Iq8

以 上